

いのちひろば

連載

(16)

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

おだわら看護専門学校について

小田原医師会理事 鈴木博雅



はじめに

おだわら看護専門学校は小田原医師会設立の看護師養成施設です。地域医療関係者、看護師を目指す人でなければあまり興味がないかもしれませんが、今日は学校の紹介と、地域における看護学校の必要性と社会的貢献について話をさせていただきます。

では看護師が不足しては、就職しても定着性が悪くその向上には地域出身者であることも望まれました。地域全体の看護師の養成を考えると、一つの病院が養成所を開設するより公益性から自治体が運営するべきです。しかし行政を動かすことは困難が多く、医師会が運営することになり現在に至ります。

小田原医師会設立の看護学校の歴史は古く、小田原医師会看護学院として1964(昭和39年)に設立されました。その後、学科を増やしつつ小田原看護専門学校と校名を換え、平成6年からは本校の前身となる3年過程全日制の小田原高等看護専門学校を新設し、2校3学科で運営してきました。

医師会立の看護専門学校の運営は、学費と小田原医師会からの運営費、さらには神奈川県、小田原市など行政からの補助金で成り立っています。

今月のひとこと

地域の医師会が運営する看護学校は、県内では横浜、藤沢、小田原の3校のみ。おだわら看護専門学校では、卒業生の多くが県西地域の医療機関で働いています。

められます。医療は目まぐるしい勢いで進歩しています。看護師に求められる知識、技術も年々増えています。そして、看護学生にも求められるものが変わっています。4年制の看護大学も増えましたが、卒業後の国家試験に求められる知識は3年制の専門学校でも同じです。得られる看護師の国家試験受験資格も同じです。4年間かけて勉強するよりも、1年早く社会人となるかの違いです。それだけに専門学校で学ぶことは容易ではありません。3年間で卒業できる割合は約80%です。少なく感じるかもしれませんが、これは全国的に平均的な数値です。卒業できれば95~100%の確率で看護師国家試験に合格します。これは他校と比較しても優秀な数字です。この国家試験合格者率を得るために、本校の教員は熱意をもって懸命に学生を指導しています。

が、運営は厳しく容易ではありません。神奈川県内でも、医師会立の看護専門学校は数は減少し、横浜医師会、藤沢医師会、そして小田原医師会だけになってしまいました。小田原医師会でも、小田原看護専門学校を2018(平成30年)3月に閉校し、同年4月に小田原高等看護専門学校をおだわら看護専門学校に校名を変更し、現在は1校のみ運営されています。

3年間の学びで高水準の国家試験合格者を輩出しています。本校は3年過程の看護専門学校です。小田原市久野の小田原市立病院向福祉会館内にあります。1学年80名で240名の生徒が看護師の道を目指し勉強しています。1、2年次は校内での勉強が中心ですが、3年次は学外の病院での実習となり、実際に患者さんと接することになります。患者さん一人ひとりは個性も違いますが病気をもち違いますが、対応もそれぞれに違ってくるため、学生には大変な困難が待ち受けていますが、これを解決し克服していくことが求められます。

医療は目まぐるしい勢いで進歩しています。看護師に求められる知識、技術も年々増えています。そして、看護学生にも求められるものが変わっています。4年制の看護大学も増えましたが、卒業後の国家試験に求められる知識は3年制の専門学校でも同じです。得られる看護師の国家試験受験資格も同じです。4年間かけて勉強するよりも、1年早く社会人となるかの違いです。それだけに専門学校で学ぶことは容易ではありません。3年間で卒業できる割合は約80%です。少なく感じるかもしれませんが、これは全国的に平均的な数値です。卒業できれば95~100%の確率で看護師国家試験に合格します。これは他校と比較しても優秀な数字です。この国家試験合格者率を得るために、本校の教員は熱意をもって懸命に学生を指導しています。

身者が多いことと、実習病院の多くが医師会内にあることが関係していると思われ、設立の目的である県西地域の看護師の育成には十分な人数ではないものの貢献できていると考えています。

*看護に興味をもった、看護師に思ったら将来看護師という職業を何となく考えている方はよく考えてください。看護師にでもなるか? という気持ちの方は3年後の卒業は難しいかも知れません。どうしても看護師になりたい、なるといふ情熱と決意がないと勉強、実習についていけません。

進路選択の支援として教員から保護者の方へのメッセージ

本来は新入学生の保護者に対し教員からメッセージになりますが、看護師になるという学生、家族が共有しておきたい気持ちで簡潔に示されていますので参考にしてください。

*保健師 助産師 看護師 法による看護師の仕事とは

看護師になるために必要な学習は法律で定められ、各校でカリキュラム

本校は3年過程の看護専門学校です。小田原市久野の小田原市立病院向福祉会館内にあります。1学年80名で240名の生徒が看護師の道を目指し勉強しています。1、2年次は校内での勉強が中心ですが、3年次は学外の病院での実習となり、実際に患者さんと接することになります。患者さん一人ひとりは個性も違いますが病気をもち違いますが、対応もそれぞれに違ってくるため、学生には大変な困難が待ち受けていますが、これを解決し克服していくことが求められます。



おだわら看護専門学校の入り口

おだわら看護専門学校の入り口

おだわら看護専門学校の入り口

看護師になるためのプロローグ

おだわら看護専門学校

オープンキャンパス

開催日程

- 7月27日(土) 9時30分
- 7月30日(火) 9時30分
- 8月16日(金) 9時30分
- 9月28日(土) 9時30分

おだわら看護専門学校

小田原市久野115-2

TEL: 0465-32-7101

https://odawara-nursing.or.jp/

2019 おだわら看護専門学校 オープンキャンパス 情報

ご予約はお電話またはホームページから

第1回	7月27日(土)	9時30分
第2回	7月27日(土)	13時30分
第3回	7月30日(火)	9時30分
第4回	7月30日(火)	13時30分
第5回	8月16日(金)	9時30分
第6回	9月28日(土)	9時30分

※各回開始30分前から受付開始します。

おだわら看護専門学校
小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館2F
TEL: 0465-32-7101 https://odawara-nursing.or.jp/

急病になった時は... 小田原医師会 地域連携室から

まず、かかりつけの医師に電話で相談してください。日頃から急病の時どうするか、かかりつけの医師と話し合っておきましょう。

かかりつけの医師が不在の場合は...

平日・土曜の昼間	地域医療連携室が医療機関をご案内 TEL.0465-47-0833
休日の昼間・夜間	小田原市休日夜間急患診療所へお電話 TEL.0465-47-0823
休日の深夜	午後10時以降は小田原消防署へお電話 TEL.0465-49-0119

医療機関検索は小田原医師会のサイトから利用できます
http://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/

休日・夜間の急患診療所はこちら

小田原市保健センター 内 ◆土・日・祝日の夜間
小田原市酒匂2-32-16 / TEL 0465-47-0823 受付時間: 18:00~22:00
◆休日の(日曜日・祝日) 診療科目: 内科・小児科
受付時間: 8:30~11:30, 13:00~15:30 ◆平日の夜間
診療科目: 内科・小児科・耳鼻咽喉科 受付時間: 19:00~22:00
眼科 (第1・3日曜日、県の当番日) 診療科目: 内科・小児科

Odakyu Hakone 地域の皆様に貢献してまいります

小田急箱根グループ

総合管理

清掃業・警備業
ビルメンテナンス

建築物環境衛生総合管理業登録(神奈川県19第8号)
警備業登録(神奈川県公安委員会第154号)

- 小田原板橋S・S ●箱根宮ノ下S・S
- ホテルとぞん小田原 ●ホテルとぞん大雄山
- 印刷業

TEL: 0465-22-4307 FAX: 0465-22-4329

箱根登山トータルサービス株式会社
Hakone Tozan Total service co.,Ltd

— 美味しさいろいろ —

味の散歩道

中華 中華 中華 中華 中華 中華 中華 中華

中華四川

特製 タンタン麺

国府津松田線
電話 425451

中華 中華 中華 中華 中華 中華 中華 中華

寿司・和食 処

小田原名物
あじの生ずし・あじたたき
天ぷら・うなぎ・焼魚定食
煮魚定食

営業時間 午前十一時~午後九時
ランチタイム
十一時~二時三十分(平日)
定休日(第一、三木曜日)

うおがし

小田原駅前
TEL: 0465-1231170

身近なニュースをお届けする日刊紙「神静民報」ご購読のお申し込みは下記の販売店へ ●定価1ヵ月2,000円 ●1部売り90円 小田原市立病院売店、大雄山線小田原駅・大雄山駅改札、カフェ・リーフで1部売り好評発売中!

<p>小田原地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ■読売新聞 読売センター 小田原報徳 TEL:0465(36)3683 小田原西店部 TEL:0465(35)0746 小田原中央店 TEL:0465(24)5050 酒匂店 TEL:0465(48)0007 ■毎日新聞小田原中央販売所 TEL:0465(87)5313 ■ASA小田原(有)曾和新聞店 TEL:0465(23)3300 ■毎日新聞小田原北部販売所 TEL:0465(34)7538 ■ASA鴨宮 TEL:0465(47)5422 	<p>■読売新聞鴨宮専売所 TEL:0465(47)3644</p> <p>■ASA国府津 TEL:0465(47)2568</p> <p>■読売新聞(有)佐藤新聞店 TEL:0465(47)3351</p> <p>■ASA小田原富水 TEL:0120(36)3775</p> <p>■ASA栢山 TEL:0465(37)1767</p> <p>■ASA小田原東部 TEL:0465(24)3012</p> <p>■今井新聞店 TEL:0465(42)0340</p>	<p>足柄下地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(有)湯本新聞販売所 TEL:0460(85)5264 ■真鶴・湯河原新聞販売所 TEL:0465(63)3399 ■読売センター湯河原 TEL:0465(62)7889 ■ASA湯河原 TEL:0465(62)6834 <p>南足柄・足柄上地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ■読売新聞 読売センター小田原城北店 TEL:0465(74)9061 ■(株)内藤新聞店 開成店 TEL:0465(83)3500 南足柄店 TEL:0465(72)0234 ■南足柄新聞店 TEL:0465(74)0281 ■大井松田新聞店 TEL:0465(82)0574 ■杉山新聞店 TEL:0465(75)0356 	<p>秦野地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ■読売新聞秦野専売所 TEL:0463(82)0290 ■(有)北湖読売開発 TEL:0463(82)7335 ■浜沢東部新聞販売店 TEL:0463(87)3680 ■ASA浜沢 TEL:0463(88)0589 ■栗原新聞店 TEL:0463(88)0058 <p>二宮・大磯地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ■毎日国府本郷専売所 TEL:0463(72)3272 ■ASA二宮 TEL:0463(71)1157
--	--	---	---